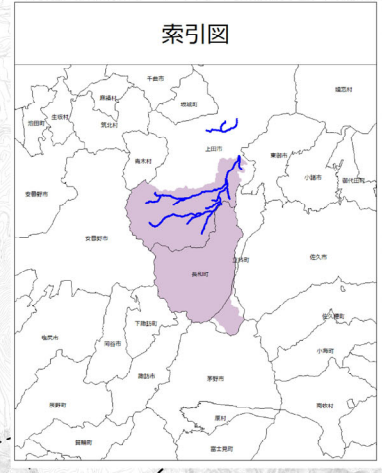
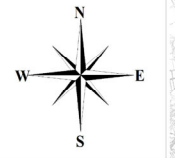


信濃川水系 依田川・武石川・権兵工川・洞川・深山沢川・内村川・  
 茂沢川・余里川・長沢川・霊泉寺川・矢の沢川 多段階の浸水想定図  
 (現況河道W=1/50)

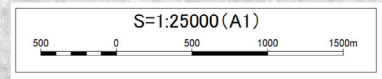


凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

0.5m未満の区域
0.5m~3.0m未満の区域
3.0m~5.0m未満の区域
5.0m~10.0m未満の区域
10.0m~20.0m未満の区域
20.0m以上の区域

--- 市町村境界  
 ■ 河川等範囲  
 実施区間



1. 説明文

(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、現況(令和6年度末)の現況の依田川、武石川、権兵工川、洞川、深山沢川、内村川、茂沢川、余里川、長沢川、霊泉寺川、矢の沢川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)の降雨に伴う洪水により依田川、武石川、権兵工川、洞川、深山沢川、内村川、茂沢川、余里川、長沢川、霊泉寺川、矢の沢川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出し、想定される浸水範囲と浸水深を示したものです。

(2) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前述となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水が想定される範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。また、想定される浸水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、昭和33年9月型降雨波形を用いているため、各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日 令和7年6月20日

(2) 作成主体及び対象となる河川 長野県上田建設事務所: 信濃川水系依田川、武石川、権兵工川、洞川、深山沢川、内村川、茂沢川、余里川、長沢川、霊泉寺川、矢の沢川

(3) 実施区間 長野県上田建設事務所

- ・依田川
  - 左岸: 小県郡長和町境から千曲川への合流点まで
  - 右岸: 小県郡長和町境から千曲川への合流点まで
- ・武石川
  - 左岸: 上田市武石上本入字大布施 2310 番の 2 地先から依田川への合流点まで
  - 右岸: 上田市武石上本入字大布施 2345 番の 5 地先から依田川への合流点まで
- ・権兵工川
  - 左岸: 上田市上武石字山ノ鼻 112 番地先から依田川への合流点まで
  - 右岸: 上田市上武石字山ノ鼻 101 番地先から依田川への合流点まで
- ・洞川
  - 左岸: 上田市武石鳥屋字鳥屋 277 番の 3 地先から依田川への合流点まで
  - 右岸: 上田市武石鳥屋字鳥屋 543 番地先から依田川への合流点まで
- ・深山沢川
  - 左岸: 上田市腰越字間ノ田 2154 番の 1 地先から依田川への合流点まで
  - 右岸: 上田市腰越字間ノ田 2227 番の 1 地先から依田川への合流点まで
- ・内村川
  - 左岸: 上田市西内入山(内村ダム)から依田川への合流点まで
  - 右岸: 上田市西内入山(内村ダム)から依田川への合流点まで
- ・茂沢川
  - 左岸: 上田市武石下本入字茂沢 796 番の 47 地先から武石川への合流点まで
  - 右岸: 上田市武石下本入字茂沢 796 番の 1 地先から武石川への合流点まで
- ・余里川
  - 左岸: 上田市武石余里字日影 615 番の 2 地先から武石川への合流点まで
  - 右岸: 上田市武石余里字日影 663 番の 1 地先から武石川への合流点まで
- ・長沢川
  - 左岸: 上田市西内字間屋田 1947 番地先から内村川への合流点まで
  - 右岸: 上田市西内字間屋田 1926 番の 1 地先から内村川への合流点まで
- ・霊泉寺川
  - 左岸: 上田市平井字山神 2503 番の 1 地先から内村川への合流点まで
  - 右岸: 上田市平井字山神 2479 番の 18 地先から内村川への合流点まで
- ・矢の沢川
  - 左岸: 上田市長瀬字宮原 1586 番地先から千曲川への合流点まで
  - 右岸: 上田市長瀬字勝負沢 1681 番地先から千曲川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨  
 年超過確率 1/50 (依田川流域の 4 8 時間の総雨量 2 2 3 mm)

(5) 河道条件 現況(令和6年度末)

(6) 関係市区町村 上田市

(7) その他計算条件等

- ① 氾濫計算は、対象区間をおよそ 10m 間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを 1 単位として水深を計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザ測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が反映できない場合があります。
- ② 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水深を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続地盤高(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。
- ③ 依田川の上流端河道流量は、既往成果で検討した確率別氾濫解析結果により得られた上田市境界(依田川 10 k 地点)における通過流量としています。
- ④ 依田川の上流端は、浸水表示の上流端として行政界位置としています。

※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。